

2004. 10
No. 235

千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報

資料散策 53

婦人グラフ（国際情報社）

所蔵：1巻3号（大正13. 7）
～3巻7号（大正15. 7） 欠号多し



表紙や挿絵に、竹久夢二等の版画を貼りこんだ大変美しいグラビア雑誌です。当時の最先端の女性やファッションが紹介されており、豊富とした大正ロマンの生活様式を窺い知ることができます。

[特集] 本の取寄せできます

特集

本の取寄せできます

図書館間貸出の制度を御存知ですか

I 図書館間貸出とは

利用者の方の中で次のような経験をされた方、意外と多いのではないでしょうか。

「読みたい本があって図書館に出かけたが、結局なかった。」

「調べ物のため自宅で図書館のホームページを開いてインターネットで蔵書検索をしたが、見つからなかった。」

そこで「他の図書館にいければあるかもしれない・・・」と考えた方もいらっしゃるはず。

そんな時は、窓口の職員に一言相談されてみてはいかがでしょう。

県内図書館ネットワークを活用した「図書館間貸出」の制度により、他の図書館での所蔵を確認して、御希望の本をお近くの図書館又は公民館図書室等窓口までお届けします（通常翌日～2週間程度時間がかかります。）。

図書館で行う図書館間貸出の制度とは、毎年発行される膨大な数の資料を、一つの図書館で所蔵することが不可能なことから、「図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。」（図書館法第3条第4号）により資料の有効活用を図ることです。

II 図書館間貸出のしくみ

千葉県では、図書館運営重点項目の一つとして、「市町村立図書館等への援助機能の充実」を掲げ、県民がどこでも等しく図書館サービスを受けられるように、県立3館（中央・西部・東部）で連携を図りながら、市町村立図書館や図書館未設置市

町村における公民館図書室、高等学校図書館、類縁機関への本に関する調査相談等への回答とともに、資料の図書館間貸出を行っています。



例えば、ある本を捜しに自宅近くの町立A図書館に出向いたところ、所蔵してなかった場合は、A館は所蔵館県立Bにインターネットやファックスにより本の貸出し依頼を行います。県立B館は依頼を受け、図書館協力車で本をA館に搬送します。したがって、利用者の方は、県立B館に直接出向く必要はなく、最寄のA館で利用したい本を手に入れることができます。ただし、辞典や目録等の参考書、発行年の古いもの（昭和28年発行以前）、千葉県関係資料（複本のないもの）等は館内閲覧のみで、館外貸出しの対象となっていないので御注意ください。

また、県立図書館の所蔵情報については、インターネットによる情報提供をしており、「千葉県内横断検索」機能（下注）も充実してきているほか、市町村のホームページにおいても各館の所蔵状況について公開していますので、併せて御利用ください。

（注）千葉県内横断検索

17市町立図書館（千葉市・市原市・八千代市・佐倉市・四街道市・成田市・八街市・袖ヶ浦市・千倉町・市川市・船橋市・浦安市・我孫子市・佐原市・旭市・光町・成東町）と県立3館の所蔵資料が同時に検索できる機能です。

III 図書館協力車

図書館間貸出制度により他館から借り受ける本を搬送する重要な足として、図書館協力車が利用されます。リクエストされた本は行先ごとに分けられ、各市町村立図書館・公民館図書室を巡回するトラックに積載し、決められたコースを経て目的地まで運ばれ、利用者（申込者）の手に渡ります。

現在、県内を中央・西部・東部の3つのエリアに分け、それぞれの奉仕対象地域内において県立図書館を中心に図書館協力車の運行が行われています。県立中央図書館が所管する中央エリアの場合、その行先は曜日によって異なり、県立2館（西部・東部）へ向かう便は週2回（毎週火曜日と木曜日）、水曜日には安房・夷隅（地区）方面、木曜日には君津・長生（地区）方面、また金曜日は習志野・八千代・印旛（地区）方面、安房（地区）方面へ図書館協力車が運行しています。このように図書館協力車は、県民がどこに住んでいても、希望する本を身近な施設へお届けするため県内の図書館及び公民館等の読書施設を余すところなく網の目のように走り回っており、図書館活動に欠かせない存在となっているのです。

この図書館協力車により平成15年度には61,037冊が県立図書館から他の市町村立図書館等に運ばれ、47,028冊が市町村立図書館間で相互に貸借されました。県立図書館の協力貸出冊数は次ページのように近年著しい増加を示しています。

図書館協力車の前身は、住民に直接資料を貸し出すために昭和24年から巡回を始めた移動図書館車「ひかり号」までさかのぼります。その後、各市町村立図書館の蔵書が充実し、県民のニーズが多様化していくにつれて、図書館や読書施設へ貸し出す間接貸出がより効率的であると考えられるようになったのです。このような経緯から昭和52年に図書館協力車による図書館への巡回が開始されました。昭和60年には、県内全公共図書館の図書館間貸出が可能となり、平成13年図書館協力車の民間委託とともに、図書館未設置市町村への巡回も実施し、現在県内79市町村のすべての物流ネットワークが確保されることとなりました。

今後も、迅速でよりよいサービスを心がけていきますので、県民の皆様の御活用をお願いします。

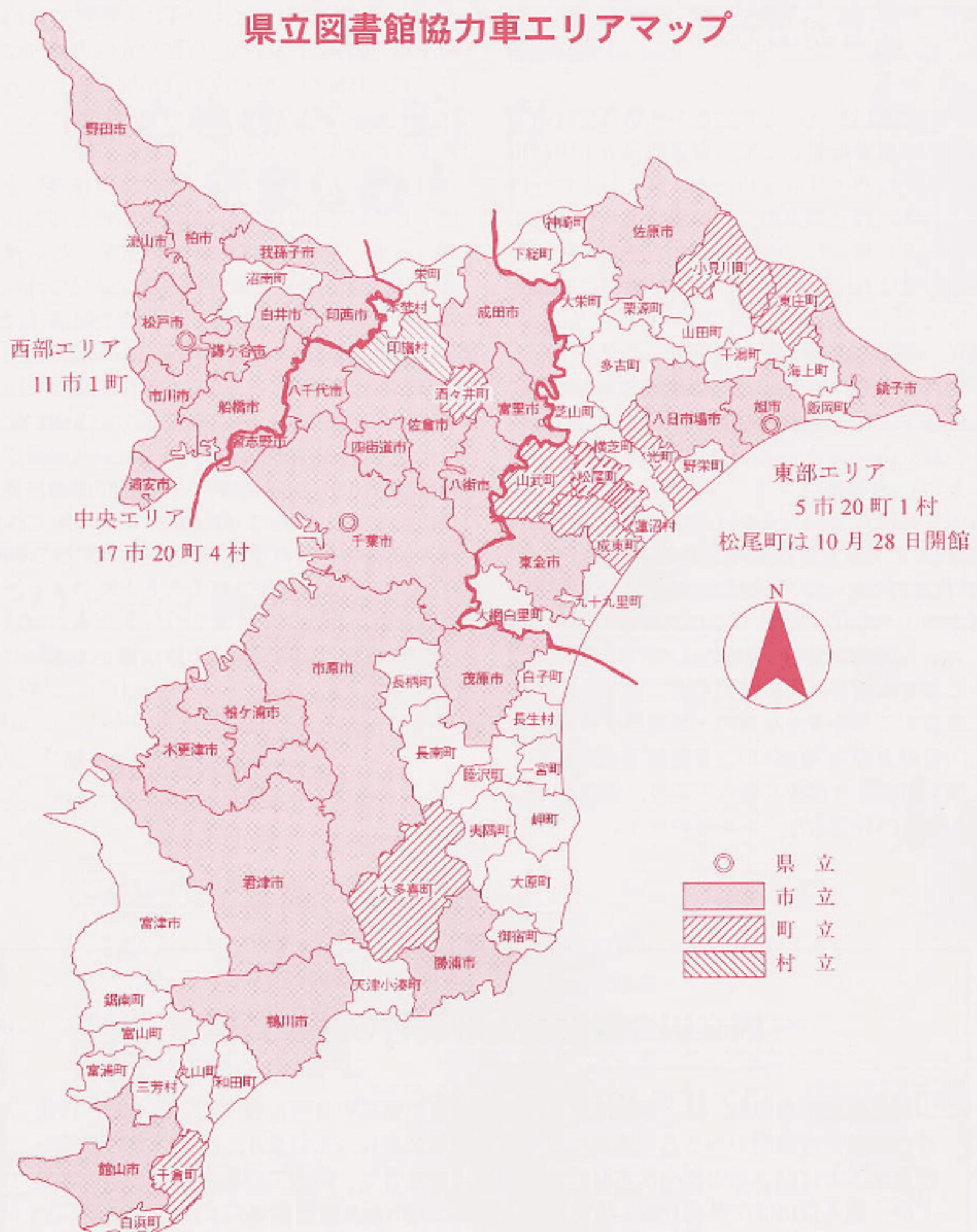
国立国会図書館との資料の相互貸借

国立国会図書館は、議会図書館として国会議員の職務の遂行に資するとともに、行政及び司法の各部門のみならず国民に対するサービスを行っています。国立国会図書館が所蔵する本は県立図書館や市町村の図書館まで取り寄せ、館内で閲覧することができますが、個人貸出はできません。貸出期間は郵送にかかる日数も含めて1ヶ月以内です。

また、著作権法31条の規定により、取寄せた本の複写は県立図書館ではできません。返却後にあらためて国立国会図書館に申し込む必要があります。

なお、雑誌や貴重書、参考図書など一部取寄せできないものもありますので、詳細は当館カウンターまでお尋ねください。

県立図書館協力車エリアマップ

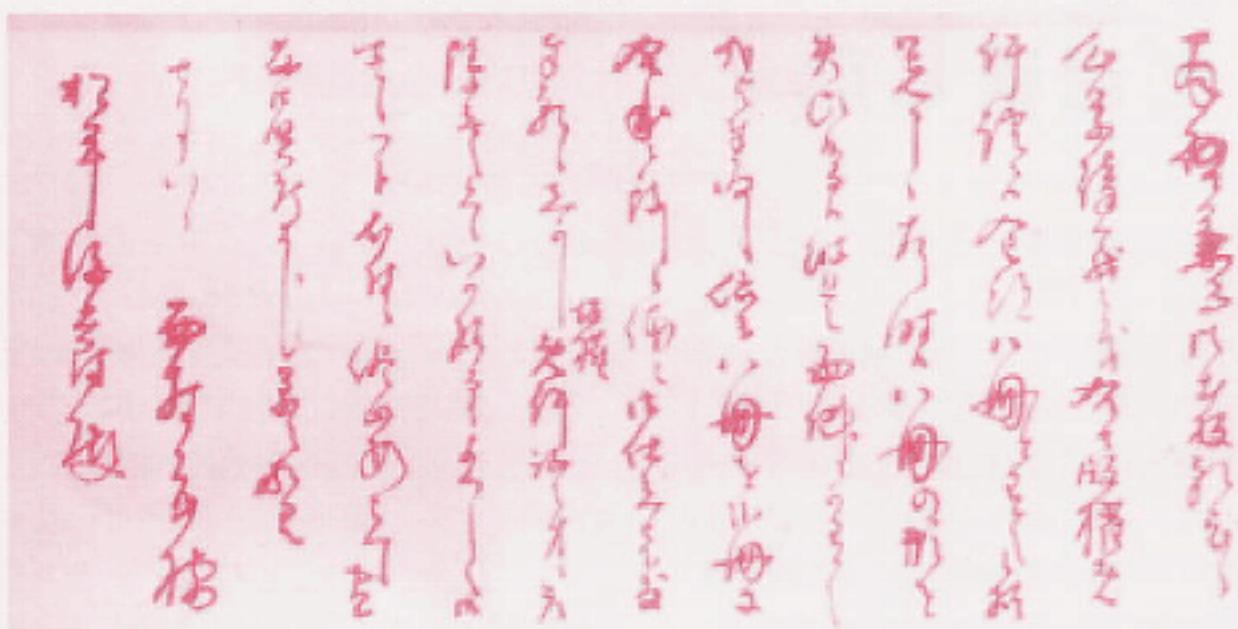


県立図書館の協力貸出冊数

(単位：冊)



『西村茂樹自筆書簡』



[はじめに]

西村茂樹（伯翁）は、幕末は佐倉藩士、明治時代は文部官僚として活躍した道徳思想家である。当館では西村茂樹自筆の書簡を所蔵しているが、激動の時代に貢献した業績とともに概略を紹介したい。

[洋学者として]

文政2（1827）年、江戸の佐野藩（佐倉藩支藩）邸に上級藩士の子として生まれた西村茂樹は、幼少期より学問に秀で、儒学はもとより蘭学、英学を修めた。卓越した洋学の知識により、幕末には外交を担当した佐倉藩主堀田正睦の「秘書」役に、また明治維新後は天皇に学問の講義をする侍講（洋学）に任じられた。明治6（1873）年、森有礼等と明六社を興し、西周、福沢諭吉等の文明開化の指導者とともに活躍した。また、編書課長を務めた文部省では教育の西洋化に携わる一方、百科事典『古事類苑』の編纂に従事している。

[道徳思想家として]

洋学にも理解が深く重用された西村茂樹であるが、日本従来の道徳を軽視する政府の欧化政策を憂慮するようになった。明治9（1876）年、東京修身学社（後の日本弘道会）を創設した。儒教と西洋哲学の長所を融合させた修身道徳を模索し、晩年にいたるまで精力的に地方講演を行い、道徳運動の普及に尽力した。

『西村茂樹自筆書簡』

拝啓兼て御出校願置候
心学講義の義右は版権免
許證二ハ全部八冊と有之候様
党申候左候時ハ八冊の形を
失ひ候ては彼是面倒可有之
哉と奉存候依て八冊を貰冊に
合本ニ致し候体ニ御仕立被下度
奉願候しかし版権免許證の方ニ差
障無之候ハトいか様にてもよろしく御
座候フト心付候儘此段申上候宜
敷御賛考可被下候草々敬具
七月八日 西村茂樹
松平伯爵殿

※活字は『図説日本弘道会110年』（日本弘道会1986年）より

『西村茂樹自筆書簡』は松平直亮伯爵あての18通の書簡を1本の巻物の体裁にしたものである。日付の記載はあるが、年代は不明である。松平直亮は出雲松江藩主でのちの貴族院議員で、日本弘道会の第3代会長を務めた。『伯翁西村茂樹伝』の編纂出版、会館建設等、日本弘道会の発展に功績を尽くした。

これらの書簡は直亮来訪時の不在を詫びるもの、家屋修繕のための転居を知らせるもの等、直亮に対する親愛感と敬愛心を感じさせる。文中の『心学講義』は日本弘道会の会員のために講義した稿本で、計8冊を上下2巻に合冊して明治25（1892）年に出版された。内容は『心学講義』出版に関する打合せで、発行形態の変更等を記している。

ホームページが使いやすくなりました

「子どものページ」ができました！

5月にホームページ上で「子どものページ」を開設しました。

子どもが自分で本を探しやすいように易しい表現にしてありますが、子どもの本に関わる大人の方にも活用していただける便利な項目があります。特に「あたらしい本」や「調べものリンク集」などは、保護者の方々や学校の先生方にもお勧めしたいページです。なお、詳しくは、児童資料室にお問い合わせください。

「子どものページ」を開いてみましょう！

千葉県立図書館のホームページ（アドレスは <http://www.library.pref.chiba.jp> です。）上の「子どものページ」という項目をクリックすると、下記のような画面が表示されます。



「子どものページ」各項目について

★りょうあんない

児童資料室の使い方を子どもにも分かりやすく説明したページです。図書館の年間カレンダーにもリンクしています。



★おしゃせ

こちらでは「おはなし会」などのお知らせを載せてています。5歳から小学生を対象とする毎週土曜日の定例おはなし会のほかに、大人の方も参加できる4月と12月の特別おはなし会も開催していますのでぜひ御覧ください。



★本をさがす

項目名を分かりやすい名称に変えてあります。ただし、大人の検索画面を基本としてありますので、検索結果は大人の本も混じってでてきます。詳しくはヘルプ画面を御覧ください。

《ヘルプ画面》

③「ぐりとぐら」をクリックすると、
①説明記号でいるところ = 図書館の本のラベルの番号や、
②手のあかげふなどがあります。
③専用区分(しりょうくふん)が見えて(ひとう)になっていると、子どもの本です。

★あたらしい本

児童資料室に入った新しい本の一覧です。大人の本とは別に児童書だけが表示されますので、御活用ください。

新しく受け入れた本の一覧ですので、刊行年が古い場合でも表示されます。

★調べものリンク集

調べものに使えるホームページをリンク集として載せました。どんな調べものに使えるか、簡単な説明をつけてありますので参考にしてください。

これらのリンク集は、まだ本に載っていない最新の情報を知りたいときに役に立ちます。また、公共性の強いページを主に集めてありますので、学校でインターネットを使った調べ学習時に使用する場合でも、安心して使うことができます。



調べものリンク集

[千葉のことを調べる](#)

[官公庁関係](#)

[こども新聞](#)

[その他](#)

★千葉のことを調べる

- [キッズウェブチバ](#)
千葉県のことがいろいろわかります。

★官公庁関係

- [図書子ども図書館](#)
図が作った子どもの本に関する専門の図書館。めずらしい本や重宝な本も探せます。
- [首相官邸\(しゅしょうかんてい\)キッズルーム](#)
内閣や総理大臣について、各府省のキッズルームへのリンクもあります。
- [情報通\(じょうつう\)白書フォーキッズ](#)
団体(だんたい)の小中学生向けホームページ。
インターネットなど情報通信について説明があります。インターネット使用上の注意のページもあるので、インターネットを使い慣れていない人はまずはここを見ましょう。
- [なるほどデータ\(なきっす\)](#)
国土や人口についてのデータがわかります。
- [キッズ外務省\(がいむしゃう\)](#)
世界のいろいろな国について調べることができます。
- [国税庁・税の学習コーナー](#)
小学生のための税金教室というページがあります。
- [子どもたちの農業教室](#)
農林水産省が子ども向けに、お米や野菜の作り方、食卓に届くまでの仕組みなどを説明しています。
- [気象庁](#)
子ども用ではないので少し難しいけれど、お天気や地図(じしん)のことなどがわかります。
- [国土地理院のホームページ\(子どものページ\)](#)
地図のいろいろや測量(そくりょう)について
- [環境省\(かんきょうしょう\)子どものページ](#)
環境問題や、自然と関係あること(パークレジンジャー、生き物、星空など)について調べられます。

本が探しやすくなりました

★ 横断検索参加館の増加

横断検索とは、お探しの資料の書名や著者名などを一度入力するだけで千葉県内の複数の図書館の蔵書を一度に検索できるシステムです。現在、千葉県立図書館3館と14市3町36館の市町立図書館の蔵書約870万冊の資料を検索することができます。

【平成15年度参加館】

市原市立中央図書館 我孫子市民図書館 八街市立図書館 旭市図書館 袖ヶ浦市立図書館

★ 中国語図書と韓国・朝鮮語図書の検索

千葉県立東部図書館で所蔵している中国語と韓国・朝鮮語の図書の情報を、中国語繁体字、中国語簡体字、ハングルを含む原文と同じ文字から検索できるようになりました。

◇アクセス方法 千葉県立図書館のホームページ (<http://www.library.pref.chiba.jp/>)

→ 図書館資料の検索 → 中国語図書

→ 韓国・朝鮮語図書の検索

(お問合せ先 千葉県立東部図書館 TEL 0479-62-7070)

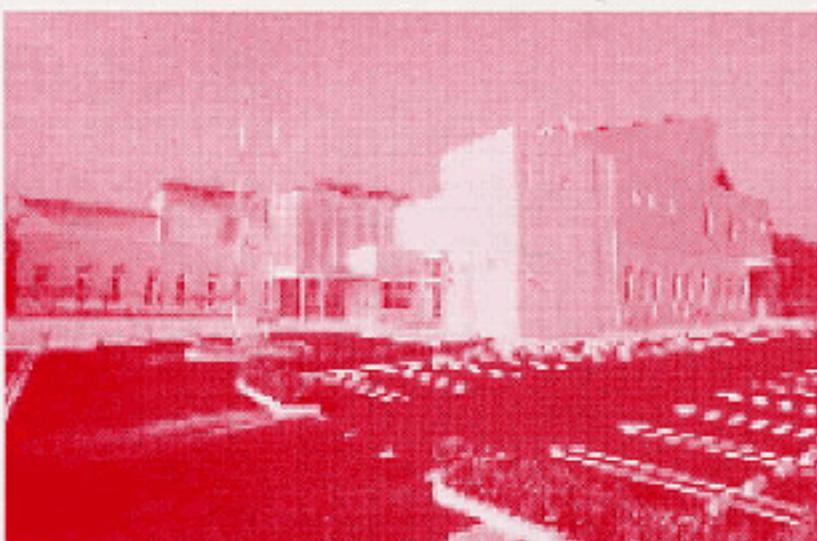
酒々井町立図書館

ルポルタージュ千葉53

平成15年9月13日に酒々井町に新しい図書館がオープンした。350席の文化ホールとの複合型文化施設「プリミエール酒々井」の中に併設された総床面積742m²の図書館である。

JR酒々井駅から徒歩10分。平屋建ての図書館にエントランス、文化ホール部分が併設されている。エントランスホールは高い吹き抜け構造で周囲がガラス張りになっているため、外光が降り注ぎ開放的な雰囲気である。また、図書館との共有スペースとして新聞閲覧、インターネットコーナーが設置され、日常のコミュニケーションの場として子供からお年寄りまで気軽に利用することができる。

図書館内は木材を基調としており、明るく、リラックスの出来る造りとなっている。広い窓際に個人席が配置され、落ち着いて自分の時間にひ



たることもできる。蔵書数は45,363冊（平成16年9月1日現在）、子ども図書館と合わせてオープンスペースが5万4千冊、書庫が3万2千冊、計最大8万6千冊を収藏することが可能である。また、館内にはCDやビデオの視聴コーナーも設置されていて、バリアフリーなどにも考慮されており、誰もが普段着で利用できる施設である。

住所：千葉県印旛郡酒々井町中央台3-4-1

電話：043-496-8682

HP：<http://www.tosyokan.town.shisui.chiba.jp/>

資料の寄贈のお願い！！

千葉県立中央図書館では千葉県に関する図書や雑誌など、また県内で発行された出版物を「千葉県関係資料」として収集・保存に努めています。歌集・句集・自伝を始め、グループの活動記録集などを出版されましたら、県立図書館へ御寄贈くださるようお願いいたします。

また、御自分の出版物でなくても、様々な情報を寄せいただければと思います。御寄贈いただきました資料は、千葉県資料室で県民の方々に御利用していただきます。なお、資料によっては、受け入れられないものもございますので、御了承ください。御寄贈いただく場合、中央図書館には、できれば2部、西部・東部図書館には各1部の御寄贈をお願いいたします。

送付先 千葉県立中央図書館 資料課 収集担当

〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1

TEL 043-222-0116

- 開館時間：一般資料室 火曜日～金曜日／9:00～19:00
土曜日・日曜日・祝日・休日／9:00～17:00
千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室／9:00～17:00
- 休館日：月曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその翌日）
・第3金曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその前日）
・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間

千葉県立中央図書館 TEL043-222-0116
<http://www.library.pref.chiba.jp/>
〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1

